



# GOVIL 延長!

## 緊急事態宣言延長!

第1回臨時道議会終了～784億円の補正予算!!

～宣言の延長で追加支援を求める声多數～

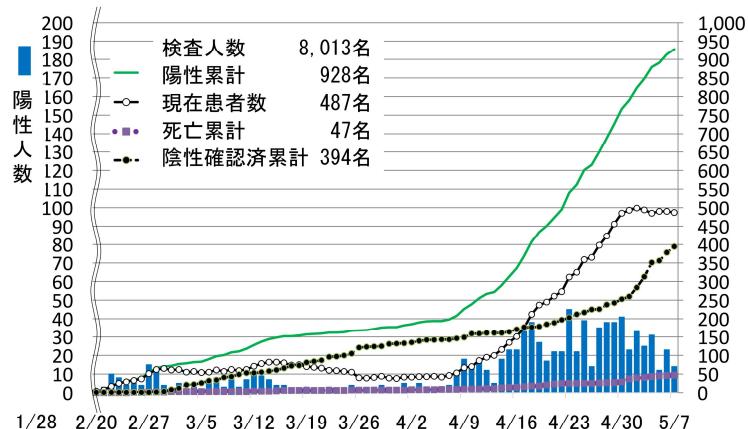
2020年4月7日、政府は7都府県に「緊急事態宣言」を発出し、その後4月16日に全都道府県に拡大しました。道は4月28日臨時の道議会を開催し、休業協力に対する支援金や医療体制整備のための経費（更なる感染症患者受け入れのための経費、医療従事者が帰宅困難となった場合の宿泊経費補助など）、中小企業等に対する資金提供などを補正予算として議決しました。民主・道民連合からは藤川道議（中央区）が代表で質問に立ちました。

しかし、政府は5月4日に「現時点では、未だかなりの数の新規感染者数を認め、感染者の減少も十分なレベルとは言えない」とし、当面、現在の取組を継続する必要があることから、5月31日まで期間を延長しました。

期間延長に関して、様々な方面から追加支援を求める多くの声が寄せられていますが、道は「単独での措置は不可能」と国の支援を求める消極的な姿勢に終始しています。

**コロナに負けない北海道**を目指して、知事に北海道に積極的な政策を求めてまいります！

北海道における新型コロナウイルスに関連した患者等の発生状況(R2.5.7現在)



# PCR検査ってなに？



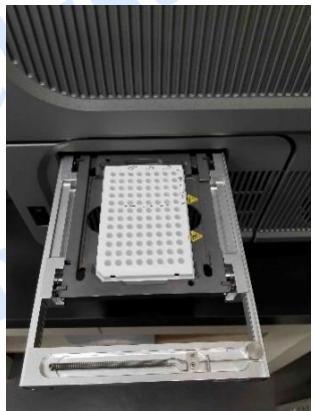
PCR検査機器

PCR検査とは遺伝子検査の方法の一つです。検出したいウイルスが特有に持っている遺伝子をターゲットにして、検出を行う方法です。

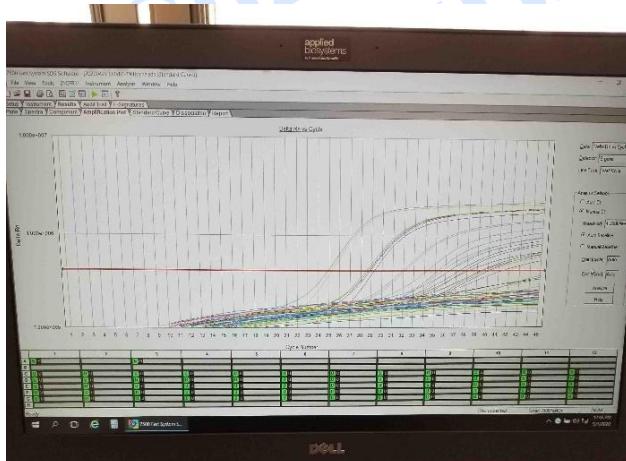
遺伝子はそのままで目で見ることができません。しかし、人工的に増やしたい部分だけを増やすことができるようになり、特別な装置を使えば目で検出することが可能になりました。

検体の中に増やしたい遺伝子があれば、増えて目で確認することができ「陽性」と判定されます。しかし検体の中に増やしたい遺伝子がなければ増えないので、目で確認することができず、「陰性」と判定されます。

検査は左写真のような、特別な装置を使用します。



検査は、右写真のように一度に90個ほどの検体が入りますが、1人につき2検体を測定するので、1回の検査で検査できるのは最大45人ほどです。



グラフが急に立ち上がって、増えているのが陽性です。なだらかな直線は陰性です。

この装置では、全行程、約3時間ほどで結果が得られるそうです。

私たちの会派、民主道民連合は、PCR検査体制の充実を求めてきました。今のままで、検査数も検査時間も十分ではありません。また、患者・医療従事者などに向けられる、いかなる「コロナ差別」も許さず、「支援や感謝、敬意」の輪を広げていきましょう！

取材協力：札幌医科大学附属病院検査部

## たけだ浩光政務事務所

〒 063-0003

西区山の手3条1丁目3-1林ビル2階  
TEL:(011)624-8030  
FAX:(011)624-8031  
e-mail : info@takeda-hiromitsu.com

たけだ浩光オフィシャルWebサイト  
<https://takeda-hiromitsu.com>



## たけだ浩光プロフィール

【すまい】西区西野（在47年）

1960年 江別市生まれ  
その後、すぐ札幌へ  
1973年 札幌市立二十四軒小学校 卒業  
1976年 札幌市立手稲東中学校 卒業  
1979年 北海道立札幌西高等学校 卒業  
1980年 北海道大学水産学部 中退  
1985年 北海道大学医学部附属  
診療放射線技師学校 卒業  
1985年 札幌医科大学附属病院勤務  
  
2019年 北海道議会議員 初当選